

## トマト畑 から



## 第1号

## 民報発行に当たって

こんにちは、大野よし子です。久万高原民報「トマト畑から」を発行することになりました。

私は大阪で26年間、小学校の教師をしていましたが、農林業の後継者となるため、仕事を辞め主人と子どもと久万高原町に移り住みました。初めての農林業はとても魅力的でした。好きなのは畔塗り。こちらに来て2年後トマト栽培を始めました。ここからが私たちの農業での生活の本格的なスタートとなりました。

4月の町議選で議会へ押し上げて頂きました。初心を忘れず、出発点を忘れず、農業を基本に考えてゆきます。皆様からの声に耳を傾け、公約と要求の実現のため議会で発言していきます。また結果をお知らせします。

尚この民報は年4回発行するつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。



## みなさんの声①

◎放棄田の草刈りのため、遠隔操作ができる草刈り機を購入し、貸し出してほしい。

➡(農業戦略課に尋ねる)「ラジコン草刈り機」という機械。40度以上の傾斜は無理。石、穴のある場所はダメ。今、操縦の練習をしている。運用方法は考え中。貸し出しは無理。(要請があればオペレーター付きで出向くことを考えている。)実演を見ることはできる。

◎槇之川集落への光回線の工事が未定のまま。若者の移住にも必須だ。役場にもいろんな方に頼んだのに。

➡まちづくり専門委員会で質議をおこなう。工事の予定ありとの回答。後日役場に確かめたところ、槇之川のような地区が他にもある。6月17日に業者が決まり、着工とのこと。声を上げ続けたことが実現に結びついたと思う。

## 町民の声②(アンケートから)

・町政に望むことは何ですか。(8項目の中から選んでいただきました。)多い順に

- ①交通弱者のための「生活の足」の確保
- ②高齢者福祉の充実
- ③過疎化の進行が心配
- ④国保税や介護保険料の引き下げ
- ⑤移住、定住対策の充実
- ⑥自然エネルギー推進と農林業などの融合
- ⑦一人暮らし支援
- ⑧保育や子育て支援の充実

アンケートに回答してくださった方の年齢

10代(0%)、20代(4%)、30代~50代(14%)、60代(34%)、70代(32%)、80代~(26%)不明(4%)



## やっと水道が直ったよ

議員にはなったものの、何をしたらよいものかと思っていた、5月中旬、おばあちゃん仲間の友人から「明神幼稚園の玄関横の水道が、冬場の凍結で水がチョロチョロと止まらない。ほかの蛇口は止まったまんま。すぐに先生が役場に連絡したのにいまだにそのまんま。議員なら何とかして」との訴え。すぐに幼稚園へ、「子どもたちにお野菜の水やりをさせたいのにできない」とのこと。その足で教育委員会へ、最終的には業者に直接急いでほしい旨伝えた。一か月後、参観日で幼稚園に行くと、先生が「見て、見て」と私を水道の所へ。直っていた。後日、電話をくれた友人と話をしたが、水が漏れ続けていてもそのままにしておいた行政の感覚に対する怒りを強く感じた。

# ハラハラドキドキ初めての一般質問

初めてで反省することも多くありましたが、今回は次の2点について質問しました。

## ① 子育て支援について

一 高校卒業までの医療費の無料にしてほしい。対象人数と経費は？

町長；180名で経費は250万から400万円

二 国保の「均等割」は収入のない子どもや赤ちゃんにもかかるので、高校卒業までの子どもの均等割を全額免除してほしい。対象人数と経費は？

町長；180名で、均等割は一人年間26,800円なので、経費は482万ほど。

実現できるか。

町長；財源の確保、ほかの市町の動向を踏まえながら総合的に進めていく。

## ② コロナ対策での検査による防御策について

1 コロナ対策をワクチンだけに頼るのは問題だ。ワクチンの配布が少なすぎるとの現場の声がある。ワクチンの効果が表れるのには時間がかかる。PCR検査を取り入れてクラスター発生を防御する必要があると思う。検査の目安を持つべき。

町長；4月補正で高齢者施設が新規入所者や職員へのPCR検査を行う場合の予算を計上した。感染者が出たため支援を広げた。現在99名ほどが検査を受けている。

2 発熱者やその周辺だけでなく、近隣市町の感染状況を目安に機敏に対象を広げ、観光地でもあるため、他地域の方と接する職種にも広げる必要がある。唾液による検査、すぐに結果の分かるキット、抗原検査も活用してほしい。

町長；県内の状況を考慮し、万が一の場合は活用したい。今はワクチン接種を急ぎたい。

## 産業建設常任委員会での私の発言

【災害被害の補助は？】

問 3年前の大雨で田の畔が崩れ、下の田に土が落ち込んだ。役場から調査に来てくれたが、補助の対象にならなかった。田の所有者は「米の値段が下がっている今、自前では修理できない。」と話す。今必死で頑張っている農家に補助は出ないのか。

答 被害額が40万円以上という要件がある。災害被害であっても全てが採択できるわけではない。

(もう一度現場を見てもらい、相談にのってくれることを確約した。)

【家族が農業を継ぎやすい環境を一放棄田を増やさないためにもー】

問 勤めている仕事を辞めて高齢農家を継ぐ場合、行政の補助はないのか。

答 49歳以下の新規就農者や農業公園の研修生には補助金はあるが、家族を手助けするための直接的な制度は今のところない。(後日農業戦略課長より、農林水産省の経営継承、発展支援事業があることを聞く。)

## 「生理の貧困」に対し、久万高原町でも

久万高原町では4月の町議選で女性議員が2名となった。そこで田村議員と一緒に「生理用品の無償提供を求める要望書」を6月4日、河野町長と小野教育長に提出した。

広報6月号に「生理用品提供用カード」と町の取り組みが載っています。必要な方、子どもさんも、ぜひご利用ください。また、使いやすくするため、ご意見をお寄せください。

## 平和行進に参加しました

すべての自治体をめぐる平和行進が6月15日久万高原町に来た。私は4回目の参加で、今年と昨年はコロナの感染対策のため行進はせず、町へ様々な要望をおこなった。参加したのは実行委員2名、町職員組合から1名、私、外に建交労の方が数名待機、町からは副町長を含む2名が参加した。

私からは自衛隊からの求めに応じ、町が18歳の住民の名前、住所を提供するのは個人情報保護のためにもやめてほしい。米軍機の低空飛行は回数は減っているが、行われていることを報告した。

